

何を信じるべきなのか、何が幸せなのか、揺らぎ見えにくくなっている今、私たちは、アーティストのつくりだす“作品”にその答えを求め、重ねあわせようとしているのではないのでしょうか。

作家が深く思考錯誤した軌跡そのものが“作品”という形となり、私たちに生きる力や発想、かけがえのない価値あるものとして、投げかけてくれます。

“作品”の持つ力は、世界の価値観そのものに影響をあたえることができます。

JCDNは、「踊りに行くぜ!!」IIで
“ダンス作品”の新作づくりに取り組みます。

本プロジェクトでは、抽象的な表現を得意とする“ダンス”の特性を活かし、作家の描きたい世界観、あるいは主題を明確に伝えることのできる“ダンス作品”の制作を目指します。

そのために、それぞれの作家が、テーマ、コンセプトに基づいた演出・構成・振付をしながら、オリジナルな手法を見出し、作品制作に専念できる〈ダンス・イン・レジデンス〉を取り入れた2つのプログラムを用意しました。

作・演出家/作品に必要な構成メンバー（美術・音楽・映像など）を編成し作品制作を行う「A/ダンスプロダクション・サポートプログラム」。

振付家/演出家1名が開催地に滞在し、地元の出演者を募り作品制作を行う「B/リージョナルダンス・クリエイションプログラム」。

ここでつくりだされた6作品は、札幌、鳥取、仙台、福岡、京都、東京の各会場を巡回公演します。他ジャンルのアートでは表現できない“ダンス作品”の発明をすること。

それが「踊りに行くぜ!!」IIの目的です。どうぞお立会いください!

福岡公演ではA・B二つのプログラムとは別に「地元枠作品」として地元・福岡のアーティストを対象に公募を行い、福岡公演主催NPO法人コデックス Co.D.Ex. と共催（公財）福岡市文化芸術振興財団により選出された作品を上演します。

各作品の詳細や各地でのダンス・イン・レジデンスの様子は Web サイトから

<http://odori2.jcdn.org>

レコメンド

詳細は各イベントのウェブサイトをご覧ください。

福岡ダンスフリンジフェスティバル vol.6 ～ダンスの発火点～

日時：2013年2月2日(土)開演17:00 / 3日(日)開演15:00 会場：大博多ホール
福岡ダンスフリンジフェスティバル公式サイト：<http://www.d-codex.asia/fdff/>
主催：NPO法人コデックス Co.D.Ex.、(公財)福岡市文化芸術振興財団、福岡市
問合せ：NPO法人コデックス Tel 080-5202-1837 E-mail codex7000@d-codex.com

JCDN 国際ダンス・イン・レジデンス・エクスチェンジ・プロジェクト 韓国-日本 共同製作プログラム

〈平成24年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業〉
日時：2013年3月23日(土)・24日(日)〔時間未定〕 会場：九州大学 箱崎キャンパス内
公式サイト：<http://jk2013.jcdn.org/>
主催：NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク 共催：(公財)福岡市文化芸術振興財団
問合せ：(公財)福岡市文化芸術振興財団 横山・鈴木 Tel 092-263-6265 E-mail art-co@ffac.or.jp

Co.D.Ex. セレクション2013 ダンス・アジア in Fukuoka

〈第7回福岡演劇フェスティバル参加公演〉
日時：2013年4月10日(水)開演19:30 会場：JR九州ホール
NPO法人コデックス Co.D.Ex. HP：<http://d-codex.com/>
主催・問合せ：NPO法人コデックス Co.D.Ex.

JCDN ダンス作品クリエイション&全国巡回プロジェクト

踊りに 行くぜ!!

セカンド vol.

We're Gonna
Go Dancing !!

II 3

福岡公演

～イムズパフォーミングアーツシリーズ 2013 vol.3～

2013.03.02 sat

open 18:30 start 19:00

会場：イムズホール (イムズ9F)

料金：全席自由

一般 前売2,500円 / 当日3,000円

学生 前売1,500円 / 当日2,000円

「わの会」会員2,200円 (前売のみ・アトリエのみ取扱い・会員証提示)

チケット取扱：

JCDN ダンスリザーブ <http://dance.jcdn.org> 

ローソンチケット (Lコード83724)

文化芸術情報館アトリエ (福岡アジア美術館内)

■上演作品

カミイケタカヤ「House the homeless」

QUICK (MuDA)「MuDA G」

大橋可也「フラジャイル・ワールド」

In Lake'ch「私はもう一人のあなたです。」

■福岡公演

主催：NPO法人コデックス、「踊りに行くぜ!!」II福岡公演実行委員会

共催：(公財)福岡市文化芸術振興財団 協力：イムズ

問合せ先：NPO法人コデックス Tel 080-5202-1837

E-mail codex7000@d-codex.com <http://d-codex.com>

文化庁委託事業「平成24年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

主催：文化庁/NPO法人 ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク (JCDN)

助成：Asahi アサヒグループ芸術文化財団 公益財団法人セゾン文化財団

協賛：トヨタ自動車株式会社 協力：Asahi アサヒビール株式会社

■全体企画・制作

NPO法人Japan Contemporary Dance Network (JCDN)

〒600-8092 京都市下京区神明町241 オパス四条503

Tel 075-361-4685 Fax 075-361-6225 E-mail jcdn@jcdn.org <http://www.jcdn.org/>

新作制作から上演までを
フルサポートするプロジェクト

作品制作費の支給
クリエイションの環境提供
全国巡回公演での作品上演

JCDN
ダンスと社会を結ぶネットワークNPO
Japan Contemporary Dance Network

We're Gonna Go Dancing !!

ダンスプロダクション・サポートプログラム

作・演出家/作品に必要な構成メンバー(美術・音楽・映像など)を編成し作品制作を行います



カミイケタクヤ | 香川 | House the homeless

ダンス・イン・レジデンス@上富田文化会館：和歌山
(共催：上富田町教育委員会)

ミシンの音が聞こえる。
雨の音も聞こえる。
誰かが歩いていて、誰かが布をたくしあげている。

その時には汲み上げられていた、いつかの記憶。

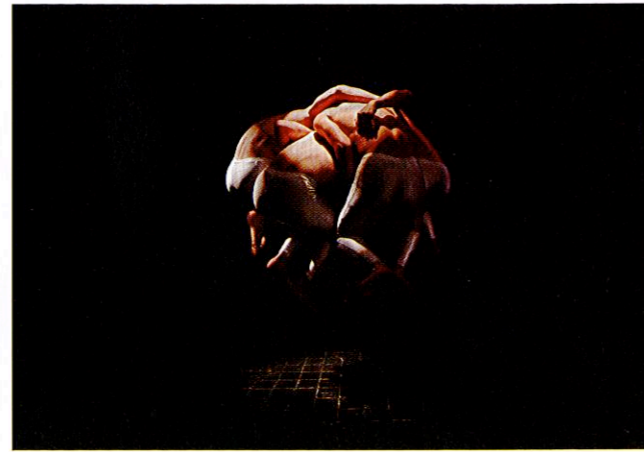
梯子を捨てて、船を沈めて、紙を丸めて
記憶にあるような景色を眺めながら歩く。
飲みかけの珈琲をもらって、飲む。
一欠けらのパンを子犬と子猫と分け合う。
今日はたくさんの傘が集まった。

あるホームレスは言う。
このままでいいんだ。これがいちばんしあわせなんだ

作・演出・美術：カミイケタクヤ
振付・出演：加藤千明、渋谷陽菜
音楽提供：熊地勇太

カミイケタクヤ

高校卒業後、舞台美術の仕事を始め、その技術や経験を用いて作品を製作。「時間の経過」という人間の故意では行えない事と「捨てる」という偶然性の事を主軸として元来の舞台美術の製作方法とは反対の方向より舞台美術作品を製作する。また同様の形で平面作品、インスタレーション作品も制作。近年では2010年高松市美術館「高松コンテンポラリーアートアニュアル vol.01」、2011年山下残演出作品「庭みたいなもの」にて舞台美術作品を発表。その他個展グループ展多数。2012年ダンスカンパニー nibroll 加入。四国学院演劇学科非常勤講師。 <http://www.nibroll.com/>



QUICK | 京都 | MuDA G

ダンス・イン・レジデンス@Art Theater dB KOBE：兵庫

僕達が存在するこの宇宙は、核分裂、核融合を繰り返しながら、衝突しあいながら、広がり続けている。
ぶつかる衝撃が無ければ、宇宙や銀河、星々の誕生、進化はあり得ない。衝撃、負荷、進化、誕生は表裏一体である。
僕達も環境や人々と、沢山の刺激や影響を受け与えあうと同時に、何かにぶつかり、不安、不満、抑圧、障害、そういうものでいっぱい負荷を背負う。
負荷はもちろん、辛くて苦しくて重たい。そして突然、問答無用にやってきて、僕達を立ち止まらせ、時には倒す。
問答無用には、問答無用で立ち向かえば良い、飛び込んでしまえば良い。
やるコトはたった一つ。みんな分かっているコト。
負荷を、衝撃を、次に転換する。
立ち止まったら進み始める。倒れたら立ち上がる。だから進化や誕生がある。

構想：QUICK 作：MuDA
振付・ダンス：QUICK、合田有紀、内田和成、松本成弘
音楽：山中透 美術：井上信太 映像：小西小多郎 衣装：南野詩恵
椅子：吉野央子 京都芸術センター制作支援事業

QUICK<クイック>

1982年京都府生まれ。ダンサー、振付家。MuDA代表。1997年ダンスを始め。1998年ブレイクダンスチーム「一撃」結成。ストリートダンス世界最大の祭典「BATTLE OF THE YEAR 2005(ドイツ)」での準優勝、BEST SHOW 受賞など、国内外数々の大会で受賞、入賞を飾る。2007年ダンスコミュニティー「e-dance(代表：飯田茂実)」結成。以後、全ての作品にて出演、振付チーフを務める。2010年パフォーマンスグループ「MuDA」結成。生命、身体、宇宙をテーマに、ダンス、音楽、映像、美術、武道などを使用した、分野越境的なパフォーマンスを行う。



リージョナルダンス・ クリエイションプログラム

振付家/演出家1名が開催地に滞在し、
地元の出演者を募り作品制作を行います



大橋可也 | 東京 | フラジャイル・ワールド

オーディションによって選ばれた17歳から60歳まで世代の異なる5人の出演者、世界をまたにかけて活躍する福岡在住のミュージシャン松永誠剛による音楽、日本ダンス界の極北をひた走る振付家大橋可也の新たな挑戦。

脆さと儚さを、不確かさと曖昧さを、断片と欠落を積み重ねていくこと。この世の中が完璧じゃないってことは誰もが知っているはずなのに、どうして完璧であることを、確実であることを求めようとするのだろう。ここにある身体だって完璧であろうはずはない。そう、僕たちは完璧さから遠く離れ、身体のかげらを、存在のかげらを拾い集めていくのだ。そこにはステンドグラスに囲まれた聖堂のように光り輝く世界が現れるに違いない。フラジャイル・ワールドへようこそ。

振付：大橋可也 音楽：松永誠剛
クリエイションアシスタント：皆木正純、檀上真帆(大橋可也&ダンサーズ)
出演：松井英理、徳永由香里、村井善幸、内田正信、坂本茜

大橋可也<おおはしかくや>

大橋可也&ダンサーズ主宰。1967年、山口県宇部市生まれ。1993~1997年、舞踏家栗由紀夫に師事。ハードコアダンスを提唱し暗黒舞踏の方法論を基に現代社会の闇に光を当てる作品を作り続ける。2008年に発表した『帝国、エアリアル』では公演に関連したフリーペーパーを制作、配布するなど、ダンスの枠組みを超えた活動をおこなっている。2011年よりオルタナティブロックバンド空間現代とのコラボレーションを継続中。2013年2月に初のインスタレーション作品『Books, Phantoms』を発表、同名の写真集を発売。2013年7月にシアターラムにて大橋可也&ダンサーズ新作『グラン・ヴァカンス』を上演する。



地元枠選出作品

福岡の地元アーティストを対象に「A.ダンスプロダクション・サポートプログラム」に準じた公募により作品を選出



In Lake'ch | 福岡 | 私はもう一人の あなたです。

舞台にある1つのテーブル。
4つの椅子。
16の手足。
では自己紹介をしてみましょう。
「私は……………」
では隣の人を紹介しましょう
「この人は……………」
私はあなた。
あなたは私。
永遠の謎。
私はもう一人のあなた。
私はあなたに入れたい。
私の中にも入れない。
脳とからだを迷わせ、狂わせ、通わせ、
私はあなたを探しに出かけます。

作：Maki Jinni
演出・振付・出演：In Lake'ch (Maki Jinni、伊藤大輔、YANCHI.、Somcha)
音楽：YANCHI.、Somcha

In Lake'ch<インラケチ>

福岡のダンスシーンで活躍しているMaki Jinni、伊藤大輔、YANCHI.、Somchaの4人で形成されたジャズ、コンテンポラリー、ストリートダンスの要素を取り入れたチーム。今回がIn Lake'ch初作品となる。「インラケチ」とは私はもう一人のあなたですの意。個々が持っているものから抜け出し、4つの体は迷いさまよい歩く。4人のダンス、身体表現は枝葉のように増えていく。まるでそれはあなたを探しに行くかのよう。

